



Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2023年1月 vol.20

あけましておめでとうございます🎊。本年もよろしくお願いたします。

子どもの頃、年末になると母は私を妹達と一緒に小さな町の本屋さんへ連れて行ってくれ、年に一度、私たちに一冊ずつ本を買ってくれるのが恒例行事でした。

子どもなりに大切な本をじっくり選びます。年が明けるまで読むのは我慢。お雑煮を食べ終わりページを開く時のドキドキ、ワクワク感は、いつでも自由に本が買えるようになった今も変わりません📖

今年初めての一冊、あなたは何を手にされますか(#^^#)

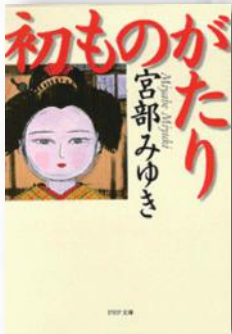
(教育委員会 副委員長：徳廣波江)

初ものがたり / 宮部 みゆき

グループホーム オアシス平野 / 介護士 大竹 雅美



元スマップの中居正広さんが主演で映画化された「模倣犯」という作品でも有名な、直木賞作家の宮部みゆきさんの時代小説をご紹介します。



時は江戸、本所深川一帯をあずかる「回向院の旦那」と呼ばれる岡っ引きの茂吉親分が、季節の初物を題材に親分に舞い込む難事件を解決していく連作短編集です。

脇役として全編登場する謎の親父が商う稲荷ずし屋台で出される初もの料理は、季節を問わず何でも手に入る現代の私たちにも“特別なもの”と思わせてくれます。

また、どの話にも登場する個性豊かな人物たちからも、江戸の市井で暮らす人々の息づかいが感じられる作品です。

時代小説にまだチャレンジしたことない方々に一度読んでいただきたい一冊です。

・次回⇒グループホーム オアシス平野 / 管理者 山田 尚章

日本一 魚好きな芸人の 魚図鑑 / さかな芸人ハットリ

グループホーム オアシスキズリ / 介護士 土居 一雅



この本は「日本一周して釣り上げた魚以外は食べない」と決めたちょっとサバイバル的な内容です。北海道から沖縄まで日本一周して、釣り上げた魚は300種類。その中で出会った魚たちを紹介しています。この本は魚の生態だけでなく、美味しい調理法も書かれています。



私は子供の頃から、父親によく魚釣りに連れていってもらいました。今は自分も父親になり、子供たち、孫たちとよく釣りに行きます。

「釣れるかどうか分からないのに、釣りをして楽しいの?」と思われるかも知れませんが、釣れた時の喜びは格別なものです。釣りは正直言って面倒くさいです。道具もたくさん準備するし、朝は早いし、釣った魚を食べるにしてもさばくのにかかりの時間が必要です。しかし釣り人は、面倒くささ、不便さを含め、その感覚がすでに楽しいのです。釣り人は常に魚のことを考えています。

釣り好きだけではなく、美味しい魚が食べたい方、調理の仕方を知りたい方、ちょっと釣りをやってみようかな、と思った方は是非一読を。

「あ〜釣りに行きたくなってきました!」

・次回⇒グループホーム オアシスキズリ / 介護士 増谷 地菜

子どもの頃から哲学者 世界一おもしろい、哲学を使った「絶望からの脱出」 / 苫野 一徳

管理本部 人事部 / 坂本 雅隆



この本は哲学者である苫野一徳さんが、難しく役に立たないと思われがちな『哲学』について自身の半生をネタにしながら、面白おかしく伝えている一冊です。



著者が学生時代に抱えていた多くの不安や葛藤などが描かれる中で、その時々々の精神状態や考えをプラトンからヘーゲルに至るまで、多くの代表的な考えを用いて分析・解説しています。

哲学がテーマと聞くと難しい印象を持つ方が多いと思いますが、この本では哲学を学ぶ上で必要不可欠な用語や考え方が解りやすく丁寧に説明されています。しかもその中に著者のコミカルなエピソードが多く散りばめられているので非常に読みやすい内容です。「哲学は現代社会に生きる多くの人が抱える悩みや、社会そのものが抱える問題を考える上で役立つ『思考の地図』になる。」そう著者は述べていますが、この本を読み終わったときにはそれを強く実感できていると思います。

哲学入門としてもオススメの一冊なので、ぜひ読んでみてください。

・次回⇒管理本部 業務部 / 野村 英世

千年の祈り / イーユン・リー

特養オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 本田 有輝



この本は、中国で生まれ育ち、渡米後に作家となったイーユン・リーさんのデビュー作です。この作品は短編集ですので、ひとつひとつの話が長すぎることなくとても読みやすくなっています。



『修百世可同舟』という中国のことわざがこの短編集のテーマとなっており、作中では『誰かと同じ舟で川を渡るためには三百年祈らなくてはならない。たがいに会って話すには長い年月の深い祈りが必ずあったのだ。』と綴られています。

このことわざの意味は「どんな関係にも理由がある」というもので、それぞれのお話の中でその言葉の意味に気づかせてくれます。

中国の歴史が大きく変化する最中、深く苦しみながらも人と人とを繋ぎ止めるお話が描かれており、勉強になる一冊です。

是非、読んでみてください。

・次回⇒特養オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 井持 忠

孤独のグルメ / 原作:久住昌之 作画:谷口ジロー

老健 配食 / ドライバー 柿塚 貴人



テレビドラマが大人気の「孤独のグルメ」をご紹介します。

スーパー銭湯の図書コーナーに置かれた本を手にとったのが、この作品との出会いです。特にストーリーがある訳ではなく、主人公・井之頭五郎の淡々とした心の中つぶやきで話が進みます。マンガから入ったものの、今では実在のお店が舞台となっているTVドラマを観る事の方が楽しみです。



「腹へった」を合図にふらりと入る店でメニューを睨み、時には他の客が頼んだものにつられて注文。提供された料理をなんとも旨そうに食べる松重豊さんを見ていると、無性に同じものが食べたくなります。

どの回も味わい深いのですが、特に「韓国出張編」は文化の違いもあり、見ていてとても楽しかったです。

東京が舞台となる事が多いので、残念ながら実際に紹介されたお店に行ったことはありません。実は、平野のお店も紹介されています!光永寺の堀沿いで営業する「串カツ・どて焼 武田」。ご存知の方も多いいのではないでしょうか?

良かったら是非一度、行ってみてください。店の紹介になってしまいました(笑)

・次回⇒老健 配食 / ドライバー 藤原一徳

その犬の名を誰も知らない / 嘉悦 洋

デイケア オアシス寿安 / 介護士 戸田 敦子



私がおすすめしたい本は「その犬の名を誰も知らない」です。

この本は昔、映画にもなった実話「南極物語」の続編のようなお話です。南極物語に出てくる二匹の樺太犬「タロとジロ」をご存知の方は多いと思いますが、南極に1年も置き去りにされたのに生き残っていたのか… 謎の残るお話でした。



そして60年経った今、この謎が解明されたのです。

長い年月を経てこの謎が明かされたのは、この本の監修をされた北村泰一さんです。第一次南極観測隊で犬の世話係を任されていた方ですが、犬を置き去りにした後悔から、まさに執念によりたどり着いた真実が書かれています。

TVでも再現ドラマ化され、初めてこの本の存在を知り、すぐに書店に行きました。

犬好きの方もそうでない方もきっと興味の湧く、感動の一冊です。是非、読んでみていただきたいです。

・次回⇒デイケア オアシス寿安 / 介護士 野嶋 輝美

わたしのワンピース / にしまき かやこ

老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 平井 真由



私のおすすめは「わたしのワンピース」という絵本です。

白い一枚の布を拾ったうさぎはミシンで真っ白なワンピースを作ります。それを着てお花畑を通ると白のワンピースが花模様になり、雨が降れば水玉模様になる。



草むらを通り、草の実模様となったワンピースを小鳥たちが食べに来て鳥模様になり、それがきっかけでうさぎが空を飛べたり、と不思議なことも起きます。「ララン ロロン♪」と楽しそうにお散歩を続ける所もこの本のポイントの一つで、そのリズム表現に読み手も楽しい気分になってきます。

私が小さい頃、母親に繰り返し読んでもらい、次々に色鮮やかに変わる絵に魅了され、可愛くて大好きな絵本となりました。そして今では私の一歳の娘も「ララン ロロン♪」と真似してみたり、「鳥さんいっばいね」とニコニコ、毎日一緒に読んでいます。

目でも耳でも楽しめるそんな一冊です。

・次回⇒老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 池田 夢

オアシス文庫 recommend



この本のタイトル「不思議の国・ジャパン」と楽しそうなイラストに惹かれ、思わず手を伸ばしてしまいました。

日本では当たり前のことがラトビア人のアルトゥルさんにとっては「カルチャーショックの大洪水でワクワクが止まらない!」ことばかり。ページを開くと、著者が心底「日本大好き」であることが伝わってきます。「日本にまつわるびっくりエピソードをまとめた」と書かれており、「外人さんなので驚くかな?」と思いましたが「へー!」「そうなんや!?!」という声が出る事も…。横で聞いていた娘も「そうなん!?!」とびっくりしていました。納豆の話では、日本が大好きでも「あかんもんはあかんやん。」と笑いました。漫画といってもページの右半分は4コマ漫画、左半分は説明が書かれているので、とてもわかりやすいです。

この本を読んで改めて日本で暮らしていること、普段気づかない当たり前ではない日本のすばらしさ、そしてその現在の日本を築いてきてくださった多くの方々に深い感謝の気持ちが湧いてきました。

22歳の時に、幼い頃からアニメや漫画で憧れていた日本に生まれ、純粋な気持ちを磨かれているのを読み、微笑ましい気持ちを抱きながら一気に読み終わりました。

教育委員会の一文にあります「是非、手に取って下さい。」です。(教育委員会: 勝本 康江)

蔵書ご案内
アルトゥルと行く!
不思議の国・ジャパン
著者・原作 / アルトゥル 漫画 / ペぶり

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出せます▶



編集後記

お蔭様でOmBもvol.20。振り返ると140名ものスタッフの皆様にご寄稿いただきました。本当にありがとうございます。

「是非、読んでみてください」「手にとってみてください」「楽しめる一冊です」皆さんのエピソードや感想と共におすすめされると全部、読みたくなってしまいます。

以前、冗談で「4冊おすすめがあるから、4回連載させて!」と言ってくださった方がおられます(^^) 連載はお受けできませんが、いつかみんなを一周するくらい続いて、また、二週目で書いていただけたらとても嬉しいです。

今年もどうぞよろしくお願いたします。



教育委員会

(教育委員会: 中島美和子)